

平成29年3月28日 PCIホールディングス株式会社 (コード番号:3918 東証第一部) グループ戦略本部グループ戦略室

『熊本城災害復旧支援金』寄付に関するお知らせ

当社グループは、熊本県の象徴である熊本城の早期復興を願い、熊本県に九州事業所を置く株式会社シスウェーブ及び、PCIホールディングス株式会社を通じた寄付を実施いたしましたのでお知らせします。

当社は、企業価値の尺度として「財務情報」(Financial Information) に加え、環境や社会 との調和を重視した「企業の社会的責任 (CSR=Corporate Social Responsibility)」を重要な 経営課題のひとつと捉え、国連 WFP への支援やプロスポーツ選手のスポンサー活動、 被災地の復興支援等に積極的に取り組んでまいりました。

加えて近年では、「ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治)」による企業評価基準が浸透してきていることから、当社が提供するサービスを通じた『各種環境負荷低減(=E:Environment)への貢献』、『社会基盤(=S:Social)の支援』も重要課題として認識しております。

こうした取り組みの中、当社グループは S (社会)の取り組みとして、「熊本城災害復旧支援金」の寄付を決定し、実施いたしました。平成 28 年 4 月に発生した熊本地震は、同県内各地に大規模な災害をもたらしました。国指定の特別史跡である熊本城も甚大な被害を受けており、内外から多くの支援が行われておりますが、復旧には 600 億円以上の費用と相当な時間が見込まれております。

以上

PCIグループは、「安心・安全・豊かな社会」の実現に向け、各種研究開発、エンベデッドシステム開発の豊かな実績で培ったIoT技術の応用により、新たなサービス領域へ積極的に挑戦します。